

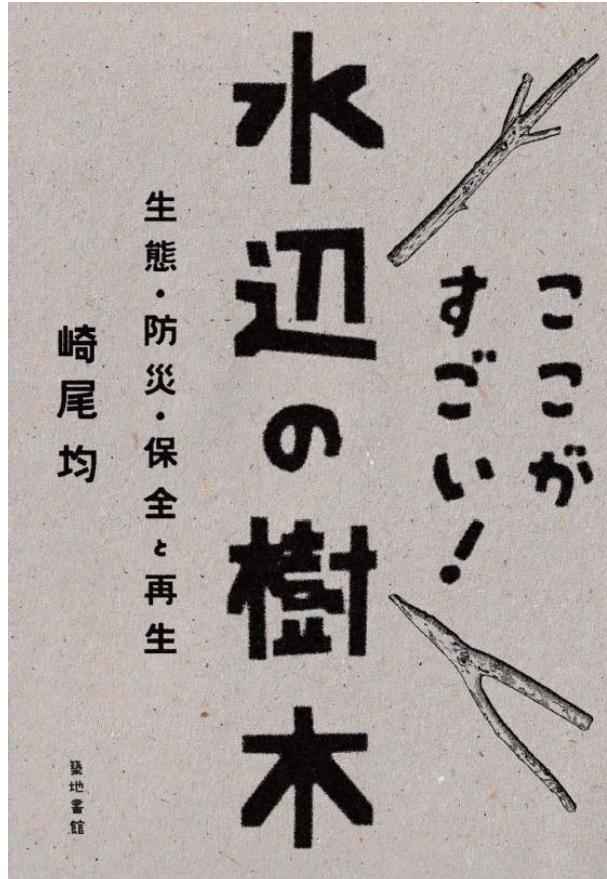
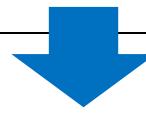
佐渡コース(2泊3日)～海・山・トキ～		最大催行人数22人 旅行代金50,000円
コース案内		
8月 10 日 (日曜日)	朝 8:30 新潟港佐渡汽船乗り場集合—9:25 新潟港出港(カーフェーリー2等)—11:55 両津港着—12:20 貸切バス—13:00 新潟大学臨海実験所(講義・機採集・シユノーケリング)—17:00 貸切バス—18:00 宿舎(夜の研修もあります)	食事:朝X・昼○(弁当)・夜○
8月 11 日 (月曜日)	朝 7:00 宿舎出発—貸切バス—8:00 ドンデン山(ドンデン高原ロッジ)—大佐渡山脈縦走(北へ向かってから往復)(草原・天然スギなど)—16:00 ドンデン高原ロッジ—貸切バス—17:00 宿舎(夜の研修もあります) ※道路状況によっては石名天然杉林からドンデン高原ロッジ縦走になる可能性もあります。	食事:朝○・昼○(おにぎり)・夜○
8月 12 日 (火曜日)	朝 7:45 宿舎出発—貸切バス—8:00 佐渡金山(見学)—10:00 貸切バス—10:05 北沢選鉱場(見学)—10:15 貸切バス—新穂ときロード(トキの生息する水田地帯)を通って—11:00 野生復帰ステーション(講義・見学)—14:00 貸切バス—14:10 トキの森公園(見学)—15:00 貸切バス—15:30 両津港—16:05 両津港出港—18:35 新潟港着	食事:朝○、昼○(弁当)、夜X
宿舎	民宿「たきもと」(新潟県佐渡市相川大浦 1429-3	TEL 0259-74-3103)
講師	1日目:安東宏徳先生、大森紹仁先生、川坂健人先生(新潟大学臨海実験所) 2日目:崎尾均先生(新潟大学名誉教授、新潟大学佐渡自然共生科学センターフェロー) 3日目:環境省及び県のスタッフの方々	
1日目:2時間半の船の旅をお楽しみください。ウミネコがたくさんいます。運がよければイルカの群れも見られます。両津港から見ると島の反対側の達者という所に、新潟大学臨海実験所があります。シユノーケリングによる機採集もします。シユノーケリングをやったことのない方も参加できます。きれいな海で、日本海の生物とその多様性を学ぶことができます。		
2日目:標高 890m のドンデン高原ロッジから、大佐渡山脈を北に向かって縦走、往復します。ドンデン高原はかつて放牧が行われ、「未来に残したい草原の里 100 選」に選ばれています。標高がそれほど高くありませんが、高山植物が生育します。一方、天然スギの森が広がります。佐渡の天然スギは風雪のためねじ曲がっています。洞爺湖サミット(2008)で飾られた、故天野尚氏の写真で一躍有名になりました。		
※ 道路状況によっては、石名天然杉林からドンデン高原ロッジ縦走になる可能性もあります。「大佐渡石名天然杉遊歩道」のYouTube の動画が、新潟県公式チャンネルにあります。		
3日目:朝、2024 年、世界遺産に登録された佐渡金山を見学します。金山の自然、歴史、技術が学べます。その後、トキが生息する新穂の水田地帯をバスで通って、野生復帰ステーションへ行きます。環境省及び県スタッフより DNA 等の遺伝的多様性、トキの野生復帰に向けた取り組みを紹介していただきます。野生のトキを、高い確率で観察することができます。トキの森公園では、トキを間近に観察できます。		
その他、おいしい食べ物・お酒、日本海に沈む夕日、美しい星空などもご期待ください。		
		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 荒天などのため、佐渡汽船が欠航、あるいは欠航予定になった場合、大幅な予定変更や研修の中止もあり得ます。その場合、キャンセル料が発生する可能性もあり得ます。 天候などのため、野外活動が変更・中止になる可能性もあります。 2日目は中級程度の登山です。標高 1000m 程度の山を登る体力に自信のない方は、申し訳ありませんが、参加をご遠慮ください。また、ブコガたくさんいます。トレッキングコースについては、ドンデン高原ロッジのホームページなどを参照してください。 	
必要物品	<p>1日目(海氷着・長袖シャツ・長ズボン(ぬれてよいもの)、マリンブーツ(それに代わる履物、臨海実験所で地下足袋を貸与可)、健康保険証など。岩礁なので素足・素肌は厳禁。</p> <p>2日目(山):中級程度の登山装備、登山靴、ザック、長袖シャツ・長ズボン、雨具(セパレート型レインウェア、折りたたみ傘)、虫除け・虫刺され薬(ブコがいる)、水筒(2L)、非常食、ライト、野外でトイレができる用意、日射対策(帽子、サングラス、日焼け止め)、手袋など。</p> <p>3日目(トキ必携ではありませんが双眼鏡があれば便利です)。</p>	

本の紹介

研修2日目の講師、崎尾均先生(新潟大学名誉教授)の近著「ここがすごい！ 水辺の樹木」(築地書館、2,400円+税)の購入を予約いただければ、本大会会場で販売できます。全部で10冊以上になった場合は、2割引になります。本の内容は、築地書館のホームページをご覧ください。佐渡研修に申し込まれる方にも、申し込まれない方にも、広く読んでほしいと思っています。

※A-1=講師書籍購入する, A-2=講師書籍購入しない

※※A-1に申し込まれた方で、他コースに決定された方には、本書の購入の有無をご連絡させていただきます。(2割引で購入いただけます。)



ここがすごい！ 水辺の樹木

生態・防災・保全と再生



試し読み

崎尾 均 [著]

口絵カラー写真 96枚！

2024年11月刊行

2,400円+税／四六判並製／カラー口絵16頁+216頁

ISBN: 978-4-8067-1676-1

溪流や河川沿いに分布する「水辺林」。

洪水などの擾乱を機に更新してきた水辺の樹木は、河川開発とともに流路の固定化によってその貴重な更新機会を失いつつある。

在来樹種が少なくなった水辺には強い繁殖力をもつ外来樹種が侵入し、その伐採に多くの手間と時間がかけられている。しかし、科学的な根拠や長期的な視点抜きで行われる河川管理や開発は、人と自然双方に厳しい結果をもたらしかねない。

本書では、水辺林保全と再生への足がかりとして、水辺の樹木の不思議な生存戦略、外来樹種の管理抑制方法、水辺林保護の具体例などを紹介。

主な内容

● 失われる水辺林

- 水辺林とは何か？
- 水辺の樹木の多様な生き方
- 代表的な水辺林とそこに生きる樹木
- なぜ樹木は水辺で共存できるのか？
- 大規模擾乱後の水辺林の更新状況を調べてみたら
- 水辺林への侵入者ハリエンジュ
- どのように水辺林を再生し復元するか
- 水辺林をまもる

◆ ご注文は最寄りの書店、または直接小社まで
築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-201 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799

